

地域振興会議 第4回南ブロック合同会議

日 時 平成30年8月22日(水)

時 間 午後2時～午後4時25分

場 所 西郷地区公民館 大ホール

【用瀬地域】

〔出席委員〕

西川功美会長、平井育子副会長、山本慎介委員、谷本由美子委員、西村正雄委員
西村隆義委員、広田弥一郎委員、岸本美鈴委員、福山裕正委員 以上9名

〔事務局〕

沖田支所長、西尾副支所長、堀場地域振興課課長補佐

【佐治地域】

〔出席委員〕

小谷繁喜会長、杉本淑子副会長、福安 修委員、岡村裕司委員、小林穂奈美委員
西尾寛茂委員、竹内むつ子委員 以上7名

〔事務局〕

西尾支所長、徳永副支所長、青木地域振興課課長補佐

【河原地域】

〔出席委員〕

竹田賢一会長、小谷加代子副会長、山縣恒明委員、楮原典子委員、倉信 敬委員
中村佳紀委員、坂本悦子委員、河毛 寛委員、西尾 純委員、奥谷仁美委員
荻原元春委員、坂本綾子委員 以上12名

〔事務局〕

遠藤支所長、九鬼副支所長、平尾地域振興課課長補佐

〔出席議員〕

山田延孝市議会議員、西村紳一郎市議会議員

〔鳥取県東部広域行政管理組合〕

高田課長、前田課長補佐、東田調整官

〔鳥取市 企業立地・支援課〕

大野次長、西田課長補佐

〔鳥取市 危機管理課〕

横尾課長、石原係長、益田主事

〔いなば西郷むらづくり協議会、一般社団法人西郷工芸の郷あまんじゃく〕

前田会長、北村代表理事

〔傍聴者〕

5名

会議次第

1 開 会

2 あいさつ

3 協議・報告事項

- (1) 新可燃物処理施設の整備状況について【資料1】
- (2) 山手・布袋工業団地の整備状況等について【資料2】
- (3) 防災行政無線デジタル化整備事業について【資料3】
- (4) 西郷地区のむらづくりについて
- (5) 意見交換
- (6) その他

4 その他

5 閉 会

3 協議・報告事項概要

(1) 新可燃物処理施設の整備状況について

(東部広域行政管理組合 資料1により説明)

(委 員) 調整池には焼却施設からの排水は入らないか。

(事務局) 調整池には敷地内や周りの山の雨水が入ります。施設から出る排水は、集落排水に流しますので調整池には入りません。

(委 員) 新しい処理施設場ではプラスチックを燃やすのか。

(事務局) プラスチックは、これまでと同じ方法で分別した上で、別系統で処理しますのでこの施設では燃やしません。プラスチックがなくても十分燃やすことができるシステムとなっています。

(委 員) 災害ゴミの受入れはどれぐらい可能か。

(事務局) 東部1市4町が対象になりますが、1日の処理量240トンの約1割の災害ゴミが入っても処理が可能な設計になっています。

- (委員) 災害に対応できる対策をするとのことだが、今後、未曾有の災害が起きる可能性がある。様々な場合を想定した提案を行政からもしていただきたい。
- (事務局) 今後実施設計に入りますので、地元とも協議しながら進めていきたいと思いません。

(2) 山手・布袋工業団地の整備状況等について

(企業立地・支援課 資料2により説明)

- (委員) マルサンアイは、従業員を増やす予定はないように聞いているがどうか。
- (事務局) 工場には2ライン入るようになっていますが、現在は1ラインが稼働しています。今後、これまでのものと同規模のラインを増設する予定になっております。

(3) 防災行政無線デジタル化整備事業について

(危機管理課 資料3により説明)

- (委員) これまでの時刻を知らせるチャイムはなくなるのか。
- (事務局) 定時のチャイムについては、有事の際に流れるのか確認のための試験放送でもありますのでこれまでどおり流れます。
- (委員) この度被害があった岡山、広島では、豪雨のときには外部スピーカーはまったく聞こえないため、防災無線の意味をなさないと聞いている。
今回の事例を受けて、鳥取市はこれまでどおりの施策でいいのか、犠牲者をださないということに着目したとき意味のある防災機器であるか、市民を守るために行政はどうしたらよいか等、もう少し踏み込んで考えてほしい。
- (事務局) 西日本豪雨での事例を受け、本市でも戸別受信機を代替する緊急情報伝達手段の検討を進めているところです。方針内容が決まりましたら、できるだけ早くみなさまに提示させていただきたいと思えます。
- (委員) 地域防災の関係者に戸別受信機を置くとのことだが、どのようなものか。全家庭への配布については、これから検討していくとしてよいか。
- (事務局) 自主防災会長などへ希望により配布される戸別受信機はデジタル式です。戸別受信機については、市の人口規模、面積を考えると方法等選定が難しい状況ですが、人命にかかわることであり、他市の状況も確認しながら慎重に検討しているところです。
- (委員) いろいろな方式があるかもしれないが、外部スピーカーが聞こえないとなれば、デジタル式の戸別受信機にしてほしい。また、企業についても設置を併せて検討してほしい。
- (事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。いろいろな観点で検討させていただきたいと思えます。
- (委員) 佐治川ダムの放流時にはサイレンが鳴り、アナウンスが流れる。市の防災無線

のタイミングは関係なく自動で流れるため、市の防災無線と重複混同する可能性がある。放送するタイミングなどシステムの技術的な連携を研究してほしい。

(事務局) どのようにシステムと連携ができるか国県等管轄の機関と協議をします。

(委員) 災害時の情報は、広域と地域性のどちらにも対応するべきものとする。

外部スピーカーだけだと大雨や暴風のときに聞こえないことも考えられるが、それ以外にもテレビやあんしんトリピーメール、ぴよんぴよんネットでも情報を流しているので、わかるのではないかということはおかしい。特に避難勧告などの情報は、一人一人に如何に情報を伝達するかを考えないといけない。

(事務局) 防災行政無線の避難情報の放送が聞こえないという状況があるとき、テレビやぴよんぴよんネットを見ておられる場合もあると思いますので、情報の伝達手段を増やすことは有効と考えます。いろいろな手段方法を使っての情報伝達について研究検討しておりますので、今後ともご協力やご意見をいただきたいと思っております。

(委員) 各地域、集落単位で説明会を開催していただきたい。

(4) 西郷地区のむらづくりについて

(いなば西郷むらづくり協議会 前田会長 及び
一般社団法人西郷工芸の郷あまんじゃく 北村代表理事説明)

4 その他

平成31年度の第5回南ブロック合同会議は用瀬地域で開催する。

5 閉会